機関誌つなぐ　No.22

つなぐニュースレター

障がいのある子の自立

2026.11.1

実りの秋、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

10月8日にけんたろうカフェを開催いたしました。そこで取り上げたのがタイトルにある障がいのある子の自立についてです。私たちの日常業務からみる、いざというときに準備したい日常生活の様々なことについて検討してみました。

質問の意図がみえない質問もあると思います。例えば「男性は洋式トイレで座ってできるか」という質問です。障がい者のグループホームは一般的な一軒家の建物であることが多く、男性用トイレを用意しているところはまれです。汚せばもちろん職員が清掃してくれますが、毎日のことですので、トラブルの原因になることが想定できます。その他、「夜寝るときは1人で寝ることができる」という質問も設けました。普段から親と同じ寝室で寝ている方もいらっしゃり、いざ家を離れると1人で寝ることができないといったことがあります。

このような何気ない日常生活が、思わぬところで独り立ちを妨げる課題になってくることも少なくありません。(裏面に続く)

受任状況

当法人の成年後見事業の受任件数が57件になりました。事務量も増えてきましたが、事務局に新しいメンバーを迎え、気持ちを新たに頑張っています。

受任状況　57件
（'26年9月末現在）

障がい別

知的障がい	精神障がい	その他	合計
41	10	16	57

類型別

後見	保佐	補助	任意	任意（発効）	合計
31	15	4	5	2	57

相談経路別

支援者	本人・家族	家裁	行政	その他	合計
28	10	4	5	0	57

賛助会員募集中！

2026年10月時点
賛助会員160人

今年度の皆様の応援に心より感謝いたします。



多額のご寄付をくださった方、毎年賛助会費を納入して頂いている方、新しく賛助会員になってくださった方、それぞれにこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

当法人の台所事情を考えると、高額の後見報酬はありがたい反面、ご本人の負担が増えることを意味するので、ジレンマを感じます。

皆様からのご寄付を有意義に使わせていただきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

※氏名・連絡先未記入の賛助振込が2件（7/14トレッサ横浜、7/24横浜生麦）ありました。お心当たりの方はつなぐ事務所までご連絡ください。

まずは他人に慣れることから



作：Soramame

日々の暮らしで親は子の身の回りのことを細かに支援することが当たり前になってきます。心配のあまり、ついつい他人に支援を委ねるタイミングを逃していることがあります。「いざというときに備える」と思うとハードルが高くなります。まずはガイドヘルパーさんの利用など、少しづつ他人の支援に慣れていくことから始めていただければと思います。



10/10あおぞら会・くるみクラブ・都筑区障害児者親の会共催の勉強会でもお話しさせていただきました。

ホームページのリニューアル

ホームページをリニューアルしました。旧ホームページの内容を精査し、Webデザイナーの大和田更紗さんが仕上げました。お金をかけて専門業者にお願いすることも考えましたが、今回は、NPO向けの割引料金で利用できるWixを使ってのリニューアルです。 成果物のダウンロードも検索しやすくなりました。ぜひアクセスしてみてください。
https://www.npo-tunagu.org/

お知らせ

【けんたろうカフェ】
2月2日（火）遺族に優しい終活を考える
【小さな勉強会】
1月19日（火）、1月22日（金）、1月28日（木）
成年後見制度の利用の検討をされている方や親なき後の準備について気軽にご相談ください。グループでも個人でもどちらでも結構です。
なお、相談は随時受け付けていますのでご連絡ください。

＜発行元・お問い合わせ先＞
NPO法人つなぐ
〒230-0051
横浜市鶴見区鶴見中央3-21-9
東建シティハイツ鶴見中央202
Tel：045-717-6662
Fax：045-717-6668
Mail： turumi@npo-tunagu.org